

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人高知大学長
相良 祐

高知大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	35人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	165人	145人	300.3人	看護業務補助	47人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	6人	7人	12.1人	理学療法士	8人	臨床検査技師	38人
薬剤師	16人	7人	22.3人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	2人	その他	0人
助産師	10人	3人	13.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	437人	60人	491.1人	臨床工学技士	12人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	0人	5人	5.0人	栄養士	0人	その他の技術員	4人
歯科衛生士	1人	1人	2.0人	歯科技工士	2人	事務職員	83人
管理栄養士	5人	0人	5.0人	診療放射線技師	27人	その他の職員	41人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	480.4人	11.3人	491.7人
1日当たり平均外来患者数	964.7人	57.7人	1022.5人
1日当たり平均調剤数	735.0 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
インプラント義歯	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	4人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	<input checked="" type="radio"/> 有・無	7人
重粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input type="radio"/> 無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input type="radio"/> 無	人
腓腫瘍に対する腹腔鏡補助下腓切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <input type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input type="radio"/> 無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input type="radio"/> 無	人
膀胱水圧拡張術	有・ <input type="radio"/> 無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	有・ <input type="radio"/> 無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建	有・ <input type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・ <input type="radio"/> 無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	有・ <input type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性難聴の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	9人
カフェイン併用化学療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	6人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ベーチェット病	39 人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	12 人
・多発性硬化症	17 人	・ウェゲナー肉芽腫症	2 人
・重症筋無力症	27 人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	15 人
・全身性エリテマトーデス	121 人	・多系統萎縮症	12 人
・スモン	1 人	・表皮水泡症(接合部型及び栄養障害型)	人
・再生不良性貧血	15 人	・膿疱性乾癬	6 人
・サルコイドーシス	44 人	・広範脊柱管狭窄症	2 人
・筋萎縮性側索硬化症	9 人	・原発性胆汁性肝硬変	20 人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	113 人	・重症急性膵炎	6 人
・特発性血小板減少性紫斑病	45 人	・特発性大腿骨頭壊死症	29 人
・結節性動脈周囲炎	14 人	・混合性結合組織病	15 人
・潰瘍性大腸炎	63 人	・原発性免疫不全症候群	5 人
・大動脈炎症候群	8 人	・特発性間質性肺炎	18 人
・ピュルガー病	8 人	・網膜色素変性症	15 人
・天疱瘡	11 人	・プリオン病	人
・脊髄小脳変性症	28 人	・原発性肺高血圧症	4 人
・クローン病	26 人	・神経繊維腫症	7 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	人	・亜急性硬化性全脳炎	2 人
・悪性関節リウマチ	12 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2 人
・パーキンソン病	51 人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧症)	6 人
・アミロイドーシス	8 人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	3 人
・後縦靭帯骨化症	47 人	・副腎白質ジストロフィー	1 人
・ハンチントン舞蹈病	1 人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月 8回 程度		
剖 検 の 状 況	剖検症例数	25 例	剖検率 13.69 %

研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者	番号	所属	金額(千円)	委託者	備考
1	難治性隣疾患に関する調査研究	西森 功	11	光学医療診療部	1,200	東北大学(厚生労働科学研究費)	厚生科研
2	非アルコール性脂肪性肝疾患の病態解明と診断法、治療法の開発に関する研究	西原 利治	11	消化器内科学	3,000	大阪府済生会吹田病院(厚生労働科学研究費)	厚生科研
3	Vanishing bile ductモデルマウスの開発	大西 三朗	11	消化器内科学	1,690	独立行政法人日本学術振興会	文科科研
4	非アルコール性脂肪性肝炎発症におけるKupffer細胞の2面性機能異常の重要性	小野 正文	11	内科(消化器)	2,340	独立行政法人日本学術振興会	文科科研
5	脂肪酸β酸化能を規定する遺伝子多型の特定とその結晶蛋白構造解析	西原 利治	11	消化器内科学	1,560	独立行政法人日本学術振興会	文科科研
6	炭酸脱水酵素関連蛋白が癌細胞の進展を増強する分子メカニズムの解明	西森 功	11	光学医療診療部(消化器)	1,430	独立行政法人日本学術振興会	文科科研
7	「徳島 健康・医療クラスター形成事業」の一部～糖尿病新規血清マーカーの臨床応用の確立～	寺田 典生 末廣 正 池田 幸雄 井上 眞理	12	内分泌代謝・腎臓内科学	1,100	財団法人とくしま産業機構(文科省再委託)	受託研究
8	家族性サイログロブリン遺伝子異常症の調査	西山 充 岩崎 泰正 田口 崇文	12	内分泌代謝・腎臓内科学(第二内科)	557	四万十町長	受託研究
9	間脳下垂体機能障害に関する調査研究	岩崎 泰正	12	内分泌代謝・腎臓内科学	900	名古屋大学(厚生労働科学研究費)	厚生科研
10	再生医療技術を用いた腎尿管の再生・修復による急性腎不全の新規治療法の開発	寺田 典生	12	内分泌代謝・腎臓内科学	4,420	独立行政法人日本学術振興会	文科科研
11	臨床検査としてのセレクチンリガンドをもつMUC1の意義	横山 彰仁	13	血液・呼吸器内科学	2,000	独立行政法人科学技術振興機構JSTイノベーションサテライト高知	受託研究
12	白血病細胞増殖機構の網羅的解析・治療戦略決定への応用	池添 隆之	13	血液・呼吸器内科学	2,000	独立行政法人科学技術振興機構JSTイノベーションサテライト高知	受託研究
13	分裂期キナーゼを標的とした新規造血器悪性腫瘍治療戦略	池添 隆之	13	内科(血液・呼吸器)	1,690	独立行政法人日本学術振興会	文科科研
14	肺癌における癌抑制遺伝子の新規候補とその機能解析	小松 直樹	13	血液・呼吸器内科学	2,080	文部科学省	文科科研
15	造血器腫瘍における予後規定因子となる新規メチル化マーカーの同定とその臨床応用	大畑 雅典	13	血液・呼吸器内科学	1,950	独立行政法人日本学術振興会	文科科研
16	セレクチンリガンドを有するKL-6/MUC1分子の臨床病理学的意義	横山 彰仁	13	血液・呼吸器内科学	1,560	独立行政法人日本学術振興会	文科科研
17	心肥大に伴う心筋不全の発症・増悪に関わる要因に関する研究(分担研究課題名:肥大型心筋症の症因と病態進展メカニズムの究明に関する縦断的研究)	土居 義典	14	老年病・循環器・神経内科学	1,500	国立循環器病センター	受託研究
18	高齢者包括的・全人的医療に関わる標準的医療システムの開発に関する研究「分担研究項目:地域におけるCGAの普及の取り組み」	西永 正典	14	老年病・循環器・神経内科学	1,500	国立長寿医療センター	受託研究
19	同一病因遺伝子変異を持つ肥大型心筋症患者における病態修飾因子の検討	久保 亨	14	内科(老年病・循環器・神経)	910	文部科学省	文科科研
20	効果的転倒予測技術の開発と転倒予防介入による生活機能の持続的改善効果に関する縦断的研究	西永 正典	14	老年病・循環器・神経内科学	1,500	杏林大学(厚生労働科学研究費)	厚生科研
21	心筋症の病因と病態進展機構の究明に関する縦断的研究	土居 義典	14	老年病・循環器・神経内科学	1,040	独立行政法人日本学術振興会	文科科研
22	小児固形移植におけるEBウイルスの制御と対策	藤枝 幹也	15	小児思春期医学	2,000	独立行政法人科学技術振興機構JSTイノベーションサテライト高知	受託研究
23	我が国における日本脳炎の現状と今後の予防戦略に関する研究	脳口 宏	15	小児思春期医学	2,200	国立感染症研究所(厚生労働科学研究費)	厚生科研
24	CRFによる中枢性交感神経-副腎髄質系賦活における誘導型NOSの役割	臼井 大介	15	小児科	1,690	文部科学省	文科科研
25	認知症と骨粗鬆症のための臨床データベース構築の応用と治療法の標準化に関する研究「分担研究項目:アルツハイマー病の臨床データベース構築と治療法の標準化」	上村 直人	16	神経科精神科	1,100	国立長寿医療センター	受託研究
26	統合失調症の未治療期間とその予後に関する疫学的研究	下寺 信次	16	神経精神科学	1,500	東邦大学(厚生労働科学研究費)	厚生科研
27	認知症高齢者の自動車運転に対する社会支援のあり方に関する検討	上村 直人	16	神経科精神科	700	国立長寿医療センター(厚生労働科学研究費)	厚生科研
28	統合失調症の認知機能障害とコンプレキシンの変化-末梢血での検討	加藤 邦夫	16	神経精神科学	2,210	独立行政法人日本学術振興会	文科科研
29	皮膚癌多発マウスを用いた新規シグナル阻害薬の紫外線発癌の抑制効果	横川 真紀	17	皮膚科学	2,000	独立行政法人科学技術振興機構JSTイノベーションサテライト高知	受託研究
30	皮膚紫外線発癌における表皮角化細胞Stat3シグナルの関与	横川 真紀	17	皮膚科	1,950	独立行政法人日本学術振興会	文科科研
31	放射線抵抗性に対する過酸化水素による放射線増感作用の検討	都築 和宏	18	放射線科	910	文部科学省	文科科研
32	消化器外科手術期における人工臓腑を用いた新しい血糖管理法の確立	花崎 和弘	19	外科学(外科1)	1,690	独立行政法人日本学術振興会	文科科研
33	コリンエステラーゼ阻害剤(ドネペジル)による新しい心不全治療標的の検討	半田 武巳	20	外科(二)	1,430	文部科学省	文科科研
34	下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療の適正出力に関して	笹巻 志朗	20	外科学(外科2)	3,570	高知大学(厚生労働科学研究費)	厚生科研
35	子宮頸癌放射線治療中における血管新生因子動態の解析	小栗 啓義	22	産科婦人科	1,560	独立行政法人日本学術振興会	文科科研
36	光トポグラフィーを用いた子宮内膜症性疼痛の脳内認知	深谷 孝夫	22	産科婦人科学	1,950	独立行政法人日本学術振興会	文科科研
37	虚弱高齢者のための児童・生徒参加型高齢者健診と運動リハモデルに関する研究	谷 俊一	23	整形外科	400	黒潮町	受託研究
38	脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	谷 俊一	23	整形外科	1,000	慶應義塾大学(厚生労働科学研究費)	厚生科研
39	高齢者の腰痛症に係るより効果的な診断・治療・リハビリテーション等の確立	武政 龍一	23	整形外科	2,000	慶應義塾大学(厚生労働科学研究費)	厚生科研

No	研究課題名	研究者	番号	所属	金額(千円)	委託者	備考
40	Functional MRIによる脊髄機能診断法の開発	谷 俊一	23	整形外科学	910	独立行政法人 日本学術振興会	文部科研
41	映像によるイメージトレーニングが大脳皮質及び脊髄前角細胞興奮性に及ぼす効果	谷口 慎一郎	23	整形外科	1,430	独立行政法人 日本学術振興会	文部科研
42	アレルギー性結膜炎患者における結膜抗原提示細胞の解析	福島 敦樹	24	眼科学	1,560	独立行政法人 日本学術振興会	文部科研
43	前庭機能異常に関する調査研究	柿木 章伸	25	耳鼻咽喉科	1,000	富山大学(厚生労働科学 研究費)	厚生科研
44	メニエール病における発作発生と治療効果発現の機序に関する研究	柿木 章伸	25	耳鼻咽喉科	520	独立行政法人 日本学術振興会	文部科研
45	内耳水代謝における水チャネルとイオン共輸送体の水ポンプとしての役割に関する研究	竹田 泰三	25	耳鼻咽喉科学	3,510	独立行政法人 日本学術振興会	文部科研
46	嚥下障害の病態及び重症度評価に基づいた嚥下障害治療指針の確立	兵頭 政光	25	耳鼻咽喉科学	2,990	独立行政法人 日本学術振興会	文部科研
47	統合失調症治療のガイドラインの作成とその検証に関する研究 分担研究課題名: 治療: 家族への働きかけ	下寺 信次	26	神経精神科学	430	国立精神・神経センター	受託研究
48	空間的かつ時間的制御を可能とする悪性グリオーマに対する幹細胞療法の基礎的研究	中林 博道	26	脳神経外科	1,040	独立行政法人 日本学術振興会	文部科研
49	超早期がんの低侵襲で効果的、正確で安全な診断・治療用微細内視鏡機器装置及びその医療技術の開発に関する研究に係る調査研究	執印 太郎	27	泌尿器科学	1,500	国立がんセンター(厚生 労働科学研究費)	厚生科研
50	難治がんの総合的な対策に関する研究	執印 太郎	27	泌尿器科学	5,000	国立がんセンター(厚生 労働科学研究費)	厚生科研
51	悪性度を反映する前立腺癌新規腫瘍マーカーの機能解析および臨床応用	蘆田 真吾	27	泌尿器科	2,080	文部科学省	文部科研
52	メチル化DNAマーカーと血清腫瘍マーカー併用によるヒト腎癌の早期診断法の開発	執印 太郎	27	泌尿器科学	8,710	独立行政法人 日本学術振興会	文部科研
53	口腔癌のDNA損傷応答システムの解析に基づく新規治療法の開発	尾崎 登喜雄	28	歯科口腔外科学	1,690	独立行政法人 日本学術振興会	文部科研
54	口腔扁平苔癬発症におけるTLRシグナルの関わりと癌化に関わる遺伝子発現	立石 善久	28	歯科口腔外科学	1,690	文部科学省	文部科研
55	口腔癌に対する低酸素標的療法を組み入れた化学・放射線治療の基礎的・臨床的検討	山本 哲也	28	歯科口腔外科学	8,190	独立行政法人 日本学術振興会	文部科研
56	小児急性リンパ性白血病における治療法の改善および新規癌抑制遺伝子の同定	武内 世生	29	総合診療部	1,690	独立行政法人 日本学術振興会	文部科研
57	急性冠症候群発症における好中球の役割に関する検討	公文 義雄	80	病態情報診断学 (検査部)	2,600	独立行政法人 日本学術振興会	文部科研
58	スジアオノリの有効成分による健康増進効果の実証実験事業	今村 潤	81	附属病院 輸血部	1,000	四万十市・高知大学連 携事業推進会議(会長 四万十市長)	受託研究
59	筋力訓練の指標となるリアルタイムの積分筋電計の実用化のための研究	石田 健司	88	リハビリテーション部	2,000	独立行政法人科学技術 振興機構JSTイノベー ションサテライト高知	受託研究
	合計	59件			115,327		

小計20

計59

(様式第11)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hepato Res 38:557-564, 2008.	The efficacy of ursodeoxycholic acid and bezafibrate combination therapy for primary biliary cirrhosis: A prospective, multicenter study.	Iwasaki S, Ohira H, Nishiguchi S, Zeniya M, Kaneko S, Onji M, Ishibashi H, Sakaida I, Kuriyama S, Ichida T, Onishi S, Toda G; Study Group of Intractable Liver Diseases for Research on a Specific Disease, Health Science Research Grant, Ministry of Health, Labour and Welfare	第一内科
Alcohol Clin Exp Res: in press. 2008.	Association Analyses of Genetic Polymorphisms of GSTM1, GSTT1, NQO1, NAT2, LPL, PRSS1, PSTI, and CFTR With Chronic Alcoholic Pancreatitis in Japan.	Maruyama K, Harada S, Yokoyama A, Mizukami S, Naruse S, Hirota M, Nishimori I, Otsuki M	第一内科
J Gastroenterol Hepatol : 2008 Aug 20. [Epub ahead of print]	Effects of branched-chain amino acids-enriched nutrient support for patients undergoing liver resection for hepatocellular carcinoma.	Okabayashi T, Nishimori I, Sugimoto T, Maeda H, Dabanaka K, Onishi S, Kobayashi M, Hanazaki K	第一内科
J Gastroenterol 43 291-297, 2008.	Evaluation of the depth score of type pit patterns in crypt orifices of colorectal neoplastic lesions	Onishi T, Tamura S, Kuratani Y, Onishi S.	第一内科
J Endocrinol 199:137-146, 2008.	Preserved tissue structure of efferent ductules in aromatase-deficient mice.	Toda K, Okada T, Hayashi Y, Saibara T	第一内科
Dig Dis Sci 27:[Epub ahead of print], 2008.	A comparison of Magnifying Chromoendoscopy Versus Histopathology of Forceps Biopsy Specimen in the Diagnosis of Minute Flat Adenoma of the Colon.	Yamada T, Tamura S, Onishi S, Hiroi M	第一内科
Mol Cell Endocrinol 285: 10-18, 2008.	Is the metabolic syndrome an intracellular Cushing state? Effects of multiple humoral factors on the transcriptional activity of the hepatic glucocorticoid-activating enzyme (11beta-hydroxysteroid	Iwasaki Y, Takayasu S, Nishiyama M, Tsugita M, Taguchi T, Asai M, Yoshida M, Kambayashi M,	内分泌代謝・腎臓内科学(第二内科)
Brain Res 1228:107-112, 2008.	CRH mRNA expression in the hypothalamic paraventricular nucleus is inhibited despite the activation of the hypothalamic-pituitary-adrenal axis during starvation.	Nishiyama M, Makino S, Iwasaki Y, Tanaka Y, Nazarloo HP, Kaneda T, Asaba K, Hashimoto K	内分泌代謝・腎臓内科学(第二内科)
Metabolism 57:1725-1732, 2008.	High glucose induces transactivation of the human paraoxonase 1 gene in hepatocytes.	Ikeda Y, Suehiro T, Arai K, Kumon Y, Hashimoto K	内分泌代謝・腎臓内科学(第二内科)
Life sci 83:426-432, 2008.	Differential regulation of 11beta-hydroxysteroid dehydrogenase type 1 and type 2 gene transcription by proinflammatory cytokines in vascular smooth muscle cells.	Tsugita M, Iwasaki Y, Nishiyama M, Taguchi T, Shinahara M, Taniguchi Y, Kambayashi M, Hashimoto	内分泌代謝・腎臓内科学(第二内科)
Life Sci 82: 677-683, 2008.	Predominant role of 25OHD in the negative regulation of PTH expression: clinical relevance for hypovitaminosis D.	Kawahara M, Iwasaki Y, Sakaguchi K, Taguchi T, Nishiyama M, Nigawara T, Tsugita M, Kambayashi M, Suda T, Hashimoto K	内分泌代謝・腎臓内科学(第二内科)
Life Sci 82: 1137-1141, 2008.	Multisignal regulation of the rat NMDA1 receptor subunit gene - A pivotal role of glucocorticoid-dependent transcription.	He J, Iwasaki Y, Nishiyama M, Taguchi T, Tsugita M, Taniguchi Y, Kambayashi M, Hashimoto K	内分泌代謝・腎臓内科学(第二内科)
J Endocrinol 197:159-69, 2008	Involvement of bone morphogenetic protein-4 in GH regulation by octreotide and bromocriptine in rat pituitary GH3 cells.	Miyoshi T, Otsuka F, Otani H, Inagaki K, Goto J, Yamashita M, Ogura T, Iwasaki Y, Makino H.	内分泌代謝・腎臓内科学(第二内科)
Kidney Int. 73:1240-50, 2008.	Expression and function of the Delta-1/Notch-2/Hes-1 pathway during experimental acute kidney injury.	Kobayashi T, Terada Y, Kuwana H, Tanaka H, Okado T, Kuwahara M, Tohda S, Sakano S, Sasaki S.	内分泌代謝・腎臓内科学(第二内科)
Arthritis Rheum. 2008, 58(7): 2141	Latency of polyarteritis nodosa until a critical occurrence.	Taniguchi Y, Kumon Y, Hashimoto K, Ozaki S.	内分泌代謝・腎臓内科学(第二内科)
J Rheumatol 2008, 35(9): 1901-2	Is carotidynia syndrome a subset of vasculitis?	Taniguchi Y, Horino T, Hashimoto K.	内分泌代謝・腎臓内科学(第二内科)
Leukemia (2008)22:2159-2168	Blockade of mTOR signaling potentiates the ability of histone deacetylase inhibitor to induce growth arrest and differentiation of acute myelogenous leukemia cells.	C Nisioka, T Ikezoe, et al.	第三内科
Leuk Res. 2008.32:287-96	Histone deacetylase inhibitors induce growth arrest and apoptosis of HTLV-1-infected T-cells via blockade of signaling by nuclear factor kappaB.	C Nisioka, T Ikezoe, et al.	第三内科
Leuk Res. 2008.32:865-72	Yokoyama A. Blockade of MEK/ERK signaling enhances sunitinib-induced growth inhibition and apoptosis of leukemia cells possessing activating mutations of the	C Nisioka, T Ikezoe, et al.	第三内科

Bone Marrow Transplant. 2008.41:303-9	Fludarabine induces growth arrest and apoptosis of cytokine- or alloantigen-stimulated peripheral blood mononuclear cells, and decreases production of Th1 cytokines via inhibition of nuclear factor kappaB.	C Nisioka, T Ikezoe, et al.	第三内科
Leukemia. 2008.22:1449-52	A.Inhibition of MEK/ERK signaling synergistically potentiates histone deacetylase inhibitor-induced growth arrest, apoptosis and acetylation of histone H3 on p21waf1 promoter in acute myelogenous leukemia cell.	C Nisioka, T Ikezoe, et al.	第三内科
Immunology. 2008.124:198-205	DHMEQ, a novel nuclear factor-kappaB inhibitor, induces selective depletion of alloreactive or phytohaemagglutinin-stimulated peripheral blood mononuclear cells, decreases production of T helper type 1 cytokines, and blocks maturation of dendritic cells.	C Nisioka, T Ikezoe, et al.	第三内科
Blood. 2008.111:5086-92	Ki11502, a novel multitargeted receptor tyrosine kinase inhibitor, induces growth arrest and apoptosis of human leukemia cells in vitro and in vivo.	C Nisioka, T Ikezoe, et al.	第三内科
Leuk Res. 2008.32:1382-92	MS-275, a novel histone deacetylase inhibitor with selectivity against HDAC1, induces degradation of FLT3 via inhibition of chaperone function of heat shock protein 90 in AML cells.	C Nisioka, T Ikezoe, et al.	第三内科
Leukemia. 2008.22:2159-68	Blockade of mTOR signaling potentiates the ability of histone deacetylase inhibitor to induce growth arrest and differentiation of acute myelogenous leukemia	C Nisioka, T Ikezoe, et al.	第三内科
Cancer Lett. 2008.262:1-9	Aurora kinases as an anti-cancer target.	Ikezoe T.	第三内科
Am J Respir Crit Care Med. 2009 Jan 1;179(1):35-40.	Airflow limitation in smokers is associated with subclinical atherosclerosis.	Iwamoto H, et al.	第三内科
European Respiratory Journal 2008; 31: 1379-80	Tiotropium bromide is effective for severe asthma with non-eosinophilic phenotype.	Iwamoto H, et al.	第三内科
Int J Lab Hematol 2009;31(1): 36-47	Neutrophil function and cytokine-specific signaling in chronic neutrophilic leukemia.	Uemura Yoshiki, Yokoyama Akihito, et al.	第三内科
今日の治療指針2008, 296-297, 2008	大動脈弁膜症	土居義典	老年病科
日常診療に役立つ高血圧診療のエビデンス, 102-103, 2008	高齢者の家庭血圧と日常生活予後	西永正典, 高田 淳, 土居義典	老年病科
循環器症候群(第2報)Ⅲ(別冊日本臨床: 新領域別症候群シリーズNo.6), 236-241, 2008	Ⅲ. 心筋疾患: 肥大型心筋症	大川真理, 土居義典	老年病科
血圧 15, 157-160, 2008	高血圧性心疾患の心臓超音波所見	矢部敏和, 土居義典	老年病科
Heart View, 12, 396-400, 2008	大動脈弓アテロームの同定と脳塞栓症リスク	矢部敏和, 大川真理, 松村敬久, 土居義典	老年病科
Geriatr Gerontol Int, 8, 12-18, 2008	Factors associated with carotid atherosclerosis in community-dwelling oldest elderly aged over 80 years	Fujisawa M, Okumiya K, Matsubayashi K, Hamada T, Endo H, Doi Y	老年病科
日本医事新報, 4378: 53-59, 2008	臨床医学の展望2008: 老年医学	土居義典, 大崎康史, 森田ゆかり, 北岡裕章, 松村敬久, 矢部敏和, 高田淳, 宮野伊知郎, 清水祐司	老年病科
M. P., 25, 711, 2008	脚気心: 古くて新しい高齢者心不全の原因	坂本知代, 矢部敏和	老年病科
専門医のための薬物療法Q&A: 循環器	肥大型心筋症(HCM)の診断と治療は?	大川真理, 土居義典	老年病科
J Cardiol, 51, 15-105, 2008	Hypertrophic cardiomyopathy with mild left ventricular remodeling: Echocardiographic assessment using left ventricular wall motion score	Hayato K, Okumiya K, Matsumura Y, Kitaoka H, Kubo T, Hitomi N, Yamasaki N, Yabe T, Furuno T, Takata J, Nishinaga M, Doi YL	老年病科
Geriatric Medicine, 46, 339-343, 2008	高齢者虚血性心疾患の治療: 慢性期の薬物療法を中心に	高田淳, 矢部敏和, 西永正典, 土居義典	老年病科
DVDで学ぶ心エコー図診断: 心筋症、心筋・心膜疾患編, 2008	3) 左室中部閉塞性心筋症	羽屋戸佳世, 松村敬久, 土居義典	老年病科
DVDで学ぶ心エコー図診断: 心筋症、心筋・心膜疾患編, 2008	17) 不整脈源性右室心筋症	羽屋戸佳世, 松村敬久, 土居義典	老年病科
DVDで学ぶ心エコー図診断: 心筋症、心筋・心膜疾患編, 2008	21) 薬物性心筋障害	羽屋戸佳世, 松村敬久, 土居義典	老年病科
Cardiology, 110, 87-91, 2008	Asymptomatic pericardial effusion in patients with rheumatoid arthritis	Sugiura T, Kumon Y, Kataoka H, Matsumura Y, Takeudhi H, Doi Y	老年病科
心エコー	拡張型心筋症—収縮予備能を診る—	松村敬久, 土居義典	老年病科
口腔内科学, 201-207, 2008	臨床—I. 診断治療の前に必要な基本的知識 5. 血圧と心電図の読み方	宮野伊知郎, 土居義典	老年病科
Geriatr Med, 46, 339-343, 2008	高齢者虚血性心疾患の治療—慢性期の薬物療法を中心に—	高田淳, 矢部敏和, 西永正典, 土居義典	老年病科
医学のあゆみ, 225, 668-370, 2008	第72回日本循環器学会総会・学術集会レポートVol.4.[シンポジウム10] Update in Cardiomyopathy—Novel Approaches, Novel Targets—	土居義典	老年病科
老年医学テキスト, 398-400, 2008	第2章 老年病各論: 4. 心臓疾患 1. 加齢変化と心臓疾患	土居義典	老年病科
老年医学テキスト, 400-403, 2008	第2章 老年病各論: 4. 心臓疾患 2. 虚血性心疾患	高田淳	老年病科

老年医学テキスト, 404-407, 2008	第2章 老年病各論: 4. 心臓疾患 3. うっ血性心不全	西永正典	老年病科
老年医学テキスト, 407-411, 2008	第2章 老年病各論: 4. 心臓疾患 4. 不整脈	矢部敏和	老年病科
心血管疾患診療のエクセレンス, 37-39, 2008	心臓のみかた	北岡裕章, 土居義典	老年病科
循環器科, 63, 543-547, 2008	心尖部肥大型心筋症における最近の話題	久保亨, 土居義典	老年病科
Geriatr Med, 46, 573-576, 2008	高齢者脱水症の輸液療法における注意点	石元篤雄, 土居義典	老年病科
医学のあゆみ, 226, 37-42, 2008	肥大型心筋症 Up to date	北岡裕章, 土居義典	老年病科
老年医学の基礎と臨床 1, 200-200, 2008	虚血性心疾患	高田淳, 土居義典	老年病科
老年医学の基礎と臨床 1, 401-400, 2008	高齢者の機能評価の進め方とCGA	西永正典	老年病科
Heart View, 12, 915-920, 2008	心筋症の疫学を掴む	大川真理, 土居義典	老年病科
Acta Med. Okayama, 62, 151-157, 2008	Smoking cessation after discharge among Japanese patients with established ischemic heart disease: A prospective cohort study.	Ota A, Yasuda N, Kawai K, Tanioka K, Doi Y, Ohara H, Ono Y	老年病科
医薬ジャーナル, 44, 2186-2191, 2008	高齢者高血圧の降圧目標と降圧薬	矢部敏和, 土居義典	老年病科
Acta Neurol Scand, 118, 159-163, 2008	Transcranial magnetic stimulation for differential diagnostics in patients with parkinsonism.	Morita Y, Osaki Y, Doi Y	老年病科
J Cardiol, 52, 111-117, 2008	Improvement in prognosis of dilated cardiomyopathy in the elderly over the past 20 years.	Kubo T, Matsumura Y, Kitaoka H, Okawa M, Hirota T, Hamada T, Hitomi N, Hoshikawa E, Hayato K, Shimizu Y, Yamasaki N, Yabe T, Nishinaga M, Takata J,	老年病科
心不全診療のエキスパートマニュアル, 65-92, 2008	弁膜症: 大動脈弁閉鎖不全症	窪川涉一, 土居義典	老年病科
新しい診断と治療のABC, 286-292, 2008	ガイドライン	久保亨, 北岡裕章, 土居義典	老年病科
Geriatr, Med, 46, 1421-1424, 2008	高齢者虚血性心疾患治療の変遷: GOL向上をめざした治療へ	高田淳, 矢部敏和, 西永正典, 土居義典	老年病科
International Archives of Allergy and Immunology, 146(Suppl), 40-46, 2008	Induction of apoptosis in human basophils by anti-Fas antibody treatment in vitro.	Matsumoto K, Maeda A, Bochner BS, Wakiguchi H, Saito H	小児科
小児感染免疫, 20(2), 213-218	感染症診断のピットホールーEBウイルス感染症から学んだ	脇口 宏	小児科
Pediatr Int 50:454-458, 2008	Monitoring of Epstein-Barr virus load and antibody in pediatric renal transplant patients.	Sato T, Fujieda M, Tanaka E, Miyamura M, Chikamoto H, Hisano M, Akioka Y, Ishiura Y, Dohno S, Maeda A, Hattori M, Wakiguchi H	小児科
Feder Eur Microbiol Sci 278:200-206, 2008	Isolation and characterization of a novel Enterococcus faecalis bacteriophage ϕ EF24G as a therapeutic candidate.	Uchiyama J, Rashed M, Maeda Y, Takemura I, Sigihara S, Akechi K, Wakiguchi H, Matsuzaki S	小児科
Clin Nephrol 69:179-184, 2008	Effect of oral mizoribine pulse therapy for frequently relapsing steroid-dependent nephritic syndrome.	Fujieda M, Ishihara M, Morita T, Hayashi Y, Ohta T, Sakano T, Wakiguchi H	小児科
Pediatr International , 50, 654-657, 2008	Cytomegalovirus infection and wheezing in infants.	Morisawa Y, Maeda A, Sato T, Hisakawa H, Fujieda M, Wakiguchi H	小児科
Allergology International ,57(4), 359-365, 2008	Presence of Eosinophils in Nasal Secretion during Acute Respiratory Tract Infection in Young Children Predicts Subsequent Wheezing within Two Months.	Shinohara M, Wakiguchi H, Saito H, Matsumoto K	小児科
小児科診療, 71(2), 209-212, 2008	【腎・尿路疾患 ABCと新たな展開】 集団検尿 学校検尿 血尿+蛋白尿の場合.	伊藤雄平, 石原正行	小児科
日本小児科医会会報, 35, 77-83, 2008	学校検尿とそのフォローについて. 日本小児科医会会報, 35, 77-83, 2008	藤枝幹也	小児科
小児科臨床, 61(5), 1079-1084, 2008	脇口 宏: 子どもの感染症が成人で流行しているー麻疹、百日咳ー	脇口 宏	小児科
子どもの感染症の診かた11, 23-24, 小児内科, 40, 1140-1146, 2008	成人の百日咳	脇口 宏	小児科
小児科臨床, 61(3), 431-436, 2008	サイトメガロウイルス感染症	前田明彦, 藤枝幹也, 脇口 宏	小児科
高知県小児科医会報, 22, 46-50, 2008	高炭酸ガス血症に対して陽陰圧体外式人工呼吸器を試みた慢性呼吸不全の1例	高杉尚志, 矢野哲也, 臼井大介, 細川卓利, 堂野純孝, 新井淳一, 藤枝幹也, 脇口 宏	小児科
高知県小児科医会報, 22, 46-50, 2008	低尿酸血症を伴う運動後急性腎不全の1例	森田 拓, 石原正行, 堂野純孝, 前田明彦, 新井淳一, 藤枝幹也, 脇口 宏, 島崎洋成, 具藤裕史, 野津寛大	小児科
Psychiatry and Clinical Neurosciences. 62:379-385	Effect of a family psychoeducational program on relatives of schizophrenia patients	Satoko Sota, Shirji shimodera, Masaru Kii, Kayoko Okamura, Koichirou Suto, Mitsuru Suwaki, Hirokazu Fujita, Ryosuke Fujito, Shimpei	神経科精神科
臨床精神医学 37(5):671-676	高齢者への非薬物療法ー心理療法ー	井関美咲, 谷勝良子, 上村直人	神経科精神科
Cognition and Dementia. 7(2):78-83	試上ディベート 高齢者の自動車運転の是非 生活の利便性を考慮するべきとの立場から	上村直人, 谷勝良子, 井関美咲	神経科精神科
Medicina. 45(7):1294-1298	高齢者ドライバー 医師の立場からできること	上村直人, 谷勝良子, 井関美咲	神経科精神科
JIM. 18(7):614-618	認知症患者が自動車の運転をやめるタイミング どの時点で意志は運転中断を勧告すべきか	上村直人, 谷勝良子, 井関美咲, 諸隈陽子	神経科精神科

最新精神医学 13(4):355-363	高齢者と運転	谷勝良子, 井関美咲, 諸隈陽子, 惣田聡子, 上村直人, 池田学	神経科精神科
老年精神医学雑誌 19増刊号1; 144-148	認知症患者の自動車運転の実態	上村直人, 井関美咲, 谷勝良子	神経科精神科
心理療法 37(5); 671-676	高齢者への非薬物療法	井関美咲, 谷勝良子, 上村直人	神経科精神科
Progress in Medicine 28:780-781	遺伝子解析は治療にどこまで役立つか?	佐野栄紀	皮膚科
アレルギー・免疫 15:485-491	【免疫臓器としての皮膚】免疫異常としての尋常性乾癬	佐野栄紀	皮膚科
Visual Dermatology 7:772-775	【ステーブンス・ジョンソン症候群と向き合う】SJS研究最前線 Stevens-Johnson症候群への進展を疑った薬剤過敏症候群	中島喜美子, 藤岡愛, 佐野栄紀	皮膚科
J Dermatol 35:732-736	Transition of psoriasiform drug eruption to psoriasis de novo evidenced by histopathology	Yamamoto, M. Ikeda, M. Kodama, H. Sano, S.	皮膚科
西日本皮膚科 70:159-163	自然消退傾向を示した先天性巨大色素性母斑に続発した進行期悪性黒色腫	志賀建夫, 横川真紀	皮膚科
皮膚の科学 7:161-164	Lichen Planus Pemphigoidesの1例	永野弓枝, 中島喜美子, 高橋正人, 佐野栄紀, 石井文人, 橋本隆	皮膚科
皮膚科の臨床 50:977-979	【真菌症】犬咬傷後に発症した皮膚トリコスポロン症の1例	永野弓枝, 中島英貴, 池田光徳, 佐野栄紀	皮膚科
臨床皮膚科 62:894-897	ロイコトリエン拮抗薬内服患者に発症したChurg-Strauss症候群	志賀建夫, 中島喜美子, 横川真紀, 池田光徳, 佐野栄紀, 小玉肇	皮膚科
Skin Cancer 23:189-193	ステロイドと低用量MTX併用療法が奏功した未分化型大細胞リンパ腫の1例	横川真紀, 山本真有子, 中島英貴, 池田光徳, 佐野栄紀, 小玉肇	皮膚科
皮膚科の臨床 50:1129-1131	Keratotic Basal Cell Carcinomaの2例	永野弓枝, 石黒麻友子, 中島英貴, 池田光徳, 小玉肇, 佐野栄紀, 三好研, 廣瀬康昭	皮膚科
皮膚病診療 30:986-989	乾癬研究up to date	佐野栄紀	皮膚科
臨床皮膚科 62:850-852	結節性梅毒の1例	藤岡愛, 高橋正人	皮膚科
皮膚の科学 7:387-388	Adenoma of the Nipple(乳頭部腺腫)	喜多川千恵, 山田陽三, 岡本明治, 山本篤志, 鬼木俊太郎, 長野徹, 錦織千佳子	皮膚科
皮膚科の臨床 50:230-231	上眼瞼の脂腺癌の1例	永野弓枝, 石黒洋明, 池田光徳, 小玉肇, 井坂公	皮膚科
Skin Cancer 23:138-144	皮膚T細胞リンパ腫患者に発生したメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患	長谷川春奈, 高田智也, 横川真紀, 池田光徳, 池添隆之, 小玉肇, 佐野栄紀	皮膚科
Visual Dermatology 8:58-59	【ケプネル現象をめぐって】肉芽腫・肉芽腫症 環状肉芽腫(Reverse Koebner phenomenon)	池田光徳, 佐野栄紀	皮膚科
Visual Dermatology 8:64-65	【ケプネル現象をめぐって】代謝病 糖尿病性浮腫性硬化症(Krakowski)(Reverse Koebner phenomenon)	池田光徳, 中島喜美子, 佐野栄紀	皮膚科
臨床皮膚科 62:39-41	癬痕性脱毛症と毛髪再生を示した毛孔性扁平苔癬	石黒麻友子, 中島喜美子, 池田光徳, 小玉肇	皮膚科
Int J Oncol. 2009 Mar;34(3):609-18.	Phase I study of a new radiosensitizer containing hydrogen peroxide and sodium hyaluronate for topical tumor injection: a new enzyme-targeting radiosensitization treatment, Kochi Oxydol-Radiation Therapy for Unresectable Carcinomas, Type II (KORTUC	小川 恭弘	放射線医学
Oncol Rep 19: 1389-1394,2008.	New radiosensitization treatment (KORTUC I) using hydrogen peroxide solution-soaked gauze bolus for unresectable and superficially exposed neoplasms.	小川 恭弘	放射線医学
臨床放射線 (Vol.53 No.9 1133-1140,2008)	高齢者/手術拒否乳癌患者みたくして酵素標的・増感放射線療法KORTUC IIを用いた非手術での乳房温存療法	小川 恭弘	放射線医学
Oncol Rep. 2008 Nov;20(5):1143-7	Radiological imaging features of invasive micropapillary carcinoma of the breast and axillary lymph nodes.	久保田 敬	放射線科
薬物性NASH 2008	NASH診療 best approach. 東京:中外医学社;76-83	濱田 典彦	放射線部
Continuous postoperative blood glucose monitoring and control by an artificial pancreas in patients undergoing pancreatic resection: a prospective randomized clinical trial .	Arch Surg (in press)	Okabayashi T, Nishimori I, Yamashita K, Sugimoto T, Maeda H, Yatabe T, Kohsaki T, Kobayashi M, Hanazaki K	外科1
Clinicopathological features and medical management of early gastric cancer	Am. J. Surg. 195:229-232	Okabayashi T, Kobayashi M, Nishimori I, Sugimoto T, Namikawa T, Onishi S, Hanazaki K	外科1

手術周術期における人工臓を用いた血糖管理	ICUとCCU 32:805-813	花崎和弘、岡林雄大、前田広道、北川博之、杉本健樹、矢田部智昭、山下幸一、西森功	外科1
ENBDチューブの逸脱により生じたと考えられる十二指腸穿孔の1例	日本臨床外科学会雑誌 69:2537-2541	甫喜本憲弘、市川賢吾、藤原千子、尾崎信三、上岡教人、花崎和弘	外科1
CRマンモグラフィのソフトコピーを用いた遠隔診断	日本乳癌検診学会雑誌 17:215-220, 2008	杉本健樹、船越拓、花崎和弘、中内優、末廣史恵、坪崎英治、濱田和香、岡本裕美子、岡田由佳、武	外科1
爪周囲炎・陥入爪の処置	外科 70:1393-1397	花崎和弘	外科1
Diversion colitis(便流変更性大腸炎/空置性大腸炎)とは	臨床看護 34:1549-1556	味村俊樹、倉本秋、駄場中研、岡本健、小林道也、花崎和弘	外科1
Significance of D2-40 expression in the diagnosis of gastrointestinal stromal tumor	Med Mol Morphol 41: 109-112	Kuroda N, Tanida N, Oonishi K, Inoue K, Ohara M, Mizuno K, Taguchi T, Hayashi Y, Hanazaki K, Lee G	外科1
Clinicopathological features and medical management of early gastric cancer.	Am J Surg.195:229-232	Okabayashi T, Kobayashi M, Nishimori I, Sugimoto T, Namikawa T, Onishi S, Hanazaki K.	外科1
The Benefit of the Supplementation of Perioperative Branched-Chain Amino Acids in Patients with Surgical Management for Hepatocellular Carcinoma: a Preliminary Study	Dig Dis Sci. 53: 204-209	Okabayashi T, Nishimori I, Sugimoto T, Iwasaki S, Akisawa N, Maeda H, Ito S, Onishi S, Ogawa Y, Kobayashi M, Hanazaki K.	外科1
Clinicopathological features of adenocarcinoma at the gastric cardia; is it different from distal cancer of the stomach?	J Am Coll Surg. 206:306-310	Maeda H, Okabayashi T, Nishimori I, Sugimoto T, Namikawa T, Dabanaka K, Tsujii S, Onishi S, Kobayashi M, Hanazaki K	外科1
The accuracy of a continuous blood glucose monitor during surgery	Anesth Analg. 106: 160-163	Yamashita K, Okabayashi T, Yokoyama T, Yatabe T, Maeda H, Manabe M, Hanazaki K.	外科1
Continuous Post-operative Blood Glucose Monitoring and Control Using a Closed-loop System in Patients Undergoing Hepatic Resection	Dig Dis Sci. 53: 1405-10.	Okabayashi T, Hanazaki K, Nishimori I, Sugimoto T, Maeda H, Yatabe T, Dabanaka K, Kobayashi M, Yamashita K	外科1
Overwhelming postsplenectomy infection syndrome in adults - A clinically preventable disease	World J Gastroenterol 14:176-179	Okabayashi T, Hanazaki	外科1
Effects of branched-chain amino acids-enriched nutrient support for patients undergoing liver resection for hepatocellular carcinoma.	J Gastroenterol Hepatol. (in press)	Okabayashi T, Nishimori I, Sugimoto T, Maeda H, Dabanaka K, Onishi S, Kobayashi M, Hanazaki K.	外科1
Pancreatic transection using a sharp hook-shaped ultrasonically activated scalpel.	Langenbecks Arch Surg. 393:1005-1008	Okabayashi T, Hanazaki K, Nishimori I, Sugimoto T, Yoshioka R, Dabanaka K, Kobayashi M, Onishi S.	外科1
人工臓臓って何?	WWaves JSCT(日本癌病態治療研究会誌)14: 55-56	花崎和弘	外科1
外科感染症対策を目的とした外科周術期に人工臓臓を用いた血糖管理法の現状と将来展望	日本感染症学会雑誌 5:177-181	岡林雄大、前田広道、花崎和弘	外科1
Total laparoscopic gastric mobilization for esophagectomy	Langenbecks Arch Surg in press	Kitagawa H, Akimori T, Okabayashi T, Namikawa T, Sugimoto T, Kobayashi M, Hanazaki K	外科1
人工臓臓STG-22を用いて管理したインスリノーマの1症例	臨床麻酔 32:1412-1414	矢田部智昭、横山武志、山下幸一、岡林雄大、真鍋雅信、花崎和弘	外科1
Long-term effects of multimodal treatment for patients with resectable carcinoma of the pancreas	Oncology Reports 20: 651-656	Okabayashi T, Nishimori I, Nishioka A, Yamashita K, Sugimoto T, Dabanaka K, Maeda H, Kohsaki T, Ogawa Y, Kobayashi M, Onishi S, Hanazaki K	外科1
人工臓臓を用いた外科手術周術期血糖管理法①周術期における血糖管理に重要性について	胆と膵 29:861-866	花崎和弘、岡林雄大、前田広道、矢田部智昭、山下幸一、西森功、小川道	外科1

Immunohistochemical and electron microscopic characterization of bruch cells of the rat cecum	Med Mol Morohol 41: 145-150	Okamoto K, Hanazaki K, Akimori T, Okabayashi T, Okada T, Kobayashi M, Ogata T	外科1
Surgical outcome of adenosquamous carcinoma of the pancreas	World J Gastroenterol 14:6765-6770	Okabayashi T, Hanazaki K	外科1
A case with synchronous multiple liver metastases from gastric carcinoma: postopera long-term disease-free survival	Langenbeck's Arch Surg 2008 Nov 11 [Epub ahead of p	Munekage M, Okabayashi T, Hokimoto N, Sugimoto T, Maeda H, Namikawa T, Dabanaka K, Kobayashi M, Araki K, Hanazaki K	外科1
Immunohistochemistry and K-ras sequence of pancreatic carcinosarcoma	Pathol Int 58:672-677	Nakano T, Sonobe H, Usui T, Yamanaka K, Ishizuka T, Nishimura E, Hanazaki	外科1
Along-survived case with solitary splenic metastasis from ovarian carcinoma	Surg Technol Int 17: 192-194	Yoshioka R, Okabayashi T, Nishimori I, Maeda H, Sugimoto T, Kosaki T, Onishi S, Fukaya T, Kobayashi M, Hanazaki K	外科1
消化管機能からみたU領域早期胃癌に対する噴門側胃切除後空腸嚢間置再建術の評価	消化と吸収 30:23-26	並川努、小林道也、花崎和弘	外科1
心臓	Donepezil (アルツハイマー治療薬、コリンエステラーゼ阻害剤)を使用した容量負荷心不全マウスにおける心室リモデリング抑制効果、生存率改善効果の検討。	半田武巳、ラジェシュ G カタレ、柿沼良彦、有川幹彦、安藤元規、山崎文靖、佐藤隆	外科(二)
Cell Transplantation, Vol.17, pp. 211-222, 2008.	The local injection of peritoneal macrophages induces neovascularization in rat ischemic hind limb muscles.	Hirose Nobuyuki, Hironori Maeda, Morio Yamamoto, Yoshihiro Hayashi, Gang-Hang Lee, Chen Liyan, Geethalakshmi Radhakrishnan, Parijatha Rao, Shiro Sasaguri.	外科(二)
Circulation Journal, 72(9) : 1520-1527, 2008.	Biphasic Elevation of Bilirubin Oxidation During Myocardial Ischemia Reperfusion.	Masaki Yamamoto, Hironori Maeda, Nobuyuki Hirose, Morio Yamamoto, Aimi Nakagawa, Geethalakshmi Radhakrishnan, Rajesh Katare Gopalrao, Takayuki Sato, Tokio Yamaguchi, Shiro Sasaguri	外科(二)
Circulation Journal, 72(5) : 800-806, 2008.	Inhibition of neointimal hyperplasia development by MCI-186 is correlated with downregulation of nuclear Factor- κ B pathway.	Geethalakshmi Radhakrishnan, Ryoko Suzuki, Hironori Maeda, Morio Yamamoto, Nobuyuki Hirose, Rajesh Katare Gopalrao, Gang-Hang Lee, Yoshihiro Hayashi, Parijatha Rao	外科(二)
Acta Anaesth Scand 53:66-71, 2009 (IF1.953)	Accuracy and reliability of continuous blood glucose monitor in post-surgical patients.	Yamashita K, Okabayashi T, Yokoyama T, Yatabe T, Maeda H, Manabe M, Hanazaki K	救急部
Fertility and Sterility	Decreased human leukocyte antigen-DR expression in the lipid raft by peritoneal macrophages from women with endometriosis.	Yamamoto Y, Maeda N, Izumiya C, Kusume T, Oguri H, Kawashima M, Hayashi K, Nomura A, Yamashita C, Fukaya T.	産科婦人科
Fertility and Sterility	Human leukocyte antigen-G, a ligand for the natural killer receptor KIR2DL4, is expressed by eutopic endometrium only in the menstrual phase.	Kawashima M, Maeda N, Adachi Y, Takeuchi T, Yamamoto Y, Izumiya C, Hayashi K, Furihata M, Udaka K, Fukaya T.	産科婦人科
Journal of Pineal Research	Melatonin preserves fetal growth in rats by protecting against ischemia/reperfusion-induced oxidative/nitrosative mitochondrial damage in the placenta.	Nagai R, Watanabe K, Wakatsuki A, Hamada F, Shinohara K, Hayashi Y, Imamura R, Fukaya T.	産科婦人科
International Journal of Gynecology and Obstetrics	Preoperative evaluation of pelvic masses with combined 18F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography and computed tomography.	Yamamoto Y, Oguri H, Yamada R, Maeda N, Kohsaki S, Fukaya T.	産科婦人科
Annual Review糖尿病・代謝・内分泌	生殖医学 基礎分野での進歩 子宮内膜症と免疫	前田長正、深谷孝夫	産科婦人科
産婦人科治療	【ホルモン療法 最近の話題】 本邦におけるOCの普及と新ガイドライン	菅麻里、林和俊、深谷孝夫	産科婦人科

臨床婦人科産科	【妊婦の感染症】 妊婦の感染 胎児への影響と対策 水痘	永井立平, 林和俊, 深谷孝夫	産科婦人科
日本産科婦人科学会雑誌	産科婦人科内視鏡学会技術認定制度と不妊症・子宮 外妊娠に対するガイドライン	深谷孝夫	産科婦人科
Clinical Neurophysiology 119(6): 1346-1352, 2008	Effect of motion imagery to counter rest-induced suppression of F-wave as a measure of anterior horn cell excitability.	Shinichirou TANIGUCHI	整形外科
Pain 137(3):662-669, 2008	Role of ASIC3 in the primary and secondary hyperalgesia produced by joint inflammation in mice.	Masahiko IKEUCHI	整形外科
Journal of reconstructive microsurgery 24(7):525-530, 2008	An Intramedullary Free Vascularized Fibular Graft Combined with Pasteurized Autologous Bone Graft in Leg Reconstruction for Patients with Osteosarcoma.	Masataka NOGUCHI	整形外科
日本脊椎脊髄病学会雑誌 The Journal of the Japanese Society for Spine Surgery and Related Research 19(3)524-528, 2008	A New Evaluation Measure for Fasciculus Cuneatus Function in Cervical Spondylotic Myelopathy.	Tomoaki AKUTAGAWA	整形外科
日本脊椎脊髄病学会雑誌 The Journal of the Japanese Society for Spine Surgery and Related Research 19(3)565-571, 2008	Determining Operative Level for Cervical Spondylotic Myelopathy in the Elderly using Spinal Cord Evoked Potentials: Intraoperative SCEPs vs. Preoperative SCEPs.	Shinichirou TANIGUCHI	整形外科
最新整形外科学体系2 運動器の診 断学 第4章:112-125, 2008	電気生理学的診断	谷 俊一	整形外科
J. Phys. Ther. Sci. 20:191-196,2008	Cortical Neurophysiological Modification after Peripheral Neuronal Sensitization.	Hirobumi KAWAMURA	整形外科
The Journal of Pain 10(3):336-342, 2009	Acid-Sensing Ion Channel 3 Expression in Mouse Knee Joint Afferents and Effects of Carrageenan- Induced Arthritis.	Masahiko IKEUCHI	整形外科
関節外科 基礎と臨床 28(3):327- 332, 2009	【特集 整形外科医に必要なマイクロサージャリー】リン パ管細静脈吻合によるリンパ浮腫治療	野口政隆	整形外科
Clinical Neurophysiology 120(2):342- 347, 2009	Effects of experimental focal compression on excitability of human median motor axons.	Tatsunori IKEMOTO	整形外科
Int Arch Allergy Immunol 146(1): 36- 43, 2008	Roles of galectin-9 in the development of experimental allergic conjunctivitis in mice.	Fukushima A. (福島敦樹)	眼科
Allergol Int, 57(3): 241-246, 2008	Depletion of thymus-derived CD4+CD25+ T cells abrogates the suppressive effects of α - galactosylceramide treatment on experimental allergic conjunctivitis.	Fukushima A. (福島敦樹)	眼科
Int Arch Allergy Immunol 147(3): 206-212, 2008	Endogenous IL-17 does not play a significant role in the development of experimental murine allergic conjunctivitis.	Fukushima A. (福島敦樹)	眼科
Ophthalmologica. 222(4): 232-239, 2008	The Effect of a Combined Therapy with a Histamine H(1) Antagonist and a Chemical Mediator Release Inhibitor on Allergic Conjunctivitis.	Fukushima A. (福島敦樹)	眼科
Immunol Letters, 121(2): 140-147, 2008	Notch ligand Delta-like4 inhibits the development of murine experimental allergic conjunctivitis.	Fukushima A. (福島敦樹)	眼科
Immunol Letters, 119(1-2): 91-96, 2008	CD27 and CD70 do not play a critical role in the development of experimental allergic conjunctivitis in mice.	Sumi T. (角 環)	眼科
Gan J Ophthalmol. 43(1): 42-47, 2008	Intraocular pressure elevation after intravitreal or posterior sub-Tenon triamcinolone acetonide	Yamamoto Y. (山本由美子)	眼科
Equilibrium Res 67(3):256-258, 2008.	ヒト内リンパ囊における水チャンネルの発現.	柿木章伸	耳鼻咽喉科
ORL 70: 215-223, 2008.	An animal model of ischemic facial palsy -Behavioral facial nerve function and ultrastructural changes of the facial nerve-.	Setsuko Takeda, Taizo Takeda, Teruhiko Okada, Hiroaki Nakatani, Masashi Hamada, Akinobu Kakigi	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx 35: 321-327, 2008.	Protective effects of edaravone against ischemia- induced facial palsy.	Taizo Takeda, Setsuko Takeda, Masaya Takumida, Teruhiko Okada, Akinobu Kakigi, Hiroaki Nakatani, Masashi Hamada, Kazuhiro	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx 35: 493-499, 2008.	Plasma antidiuretic hormone in cases with the early onset of profound unilateral deafness.	Taizo Takeda, Akinobu Kakigi, Rie Nishioka, Daizo Taguchi, Masahiko Nishimura	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科80(8):525- 530, 2008.	嚥下障害手術のコツ:神経変性疾患	兵頭政光, 西窪加緒里	耳鼻咽喉科
JOHNS 24(7):1029-1032, 2008.	治療に難渋した鼻副鼻腔乳頭腫症例 癌を合併し眼 窩内へ進展した鼻副鼻腔乳頭腫例	兵頭政光, 宋 碩柱, 高橋 宏尚	耳鼻咽喉科
Acta Otolaryngol 128: 841-845, 2008.	Effects of gadolinium injected into the middle ear on the stria vascularis.	Akinobu Kakigi, Masahiko Nishimura, Taizo Takeda, Teruhiko Okada, Yoriko Murata, Yasuhiro Ogawa	耳鼻咽喉科

Acta Otolaryngol 128; 856-860, 2008.	Actin filaments and microtubules regulate endocytosis in marginal cells of the stria vascularis.	Akinobu Kakigi, Teruhiko Okada, Taizo Takeda, Daizo Taguchi, Rie Nishioka, Masahiko	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床101(9);645-651, 2008. MB ENT 91;49-52, 2008.	メニエール病ーストレスと水代謝との関連でー 痙攣性発声障害の保存的治療	竹田泰三, 柿木章伸 兵頭政光, 田口亜紀	耳鼻咽喉科 耳鼻咽喉科
Jpn J Rehabil Med 45(11);715-719, 2008.	嚥下のメカニズムと加齢変化	兵頭政光	耳鼻咽喉科
耳鼻と臨床54(補2);S129-S134, 2008.	当科におけるWallenberg症候群による嚥下障害例の検討.	三瀬和代, 西窪加緒里, 豊島真理子, 飴矢美里, 本吉和美, 兵頭政光	耳鼻咽喉科
MB ENT 95;49-52, 2008.	咽喉頭異常感と嚥下障害	兵頭政光, 西窪加緒里, 能田淳平	耳鼻咽喉科
ORL 70; 393-398, 2008.	A Swallowing Evaluation with Simultaneous Videoendoscopy, Ultrasonography and Videofluorography in Healthy Controls.	Masahiro Komori, Masamitsu Hyodo, Kiyofumi Gyo	耳鼻咽喉科
ORL 71; 11-13, 2009.	Antidiuretic Hormone and Osmolality in Patients with Ménière's Disease.	Akinobu Kakigi, Taizo Takeda	耳鼻咽喉科
喉頭20(2);99-103, 2008.	発声障害と音声治療.	田口亜紀, 兵頭政光, 城本 修	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx 36; 15-19, 2009.	Mastoid obliteration using calcium phosphate bone paste with an artificial dermis soaked with basic fibroblast growth factor: Preliminary clinical report.	Akinobu Kakigi, Daizo Taguchi, Taizo Takeda	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx 36; 135-139, 2009.	Expression of aquaporin1, 3, and 4, NKCC1, and NKCC2 in the human endolymphatic sac.	Akinobu Kakigi, Masahiko Nishimura, Taizo Takeda, Daizo Taguchi, Rie Nishioka	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx 36; 146-151, 2009.	Decompression effects of erythritol on endolymphatic hydrops.	Taizo Takeda, Setsuko Takeda, Akinobu Kakigi, Rie Nishioka, Masahiko Nishimura	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx 36; 181-186, 2009.	Laterofixation of the vocal fold using an endo-extralaryngeal needle carrier for bilateral vocal fold paralysis.	Masamitsu Hyodo, Kaori Nishikubo, Kazumi Motoyoshi	耳鼻咽喉科
音声言語医学50(1);1-5, 2009.	気管切開孔形成術を契機に嚥下機能の改善が得られたフレンベルグ症候群の1例.	豊島真理子, 三瀬和代, 西窪加緒里, 田口亜紀, 兵頭政光	耳鼻咽喉科
J Neurol Neurosurg Psychiatry 79:719-721, 2008	Significant associations of metabolic syndrome and its components with silent lacunar infarction in middle aged subjects.	Park K, Yasuda N, Toyonaga S, Tubosaki E, Nakabayashi H, Shimizu K	脳神経外科
日本レーザー医学会誌29巻2号 147-152, 2008	【利用拡大をめざした5-ALAを用いたがんのPDD・PDT研究】 蛍光膀胱鏡による表在性膀胱癌の光学的診断	井上啓史, 鞆印太郎	泌尿器科
こうち37巻2号 67-71, 2008	膀胱癌の光学的診断	井上啓史	泌尿器科
Urology View6巻1号 13-17, 2008	【尿路上皮癌の診断と治療Update】 蛍光膀胱鏡による膀胱癌診断	井上啓史	泌尿器科
口腔組織培養学会誌	口腔扁平上皮癌細胞におけるEph/Ephrinの発現とその意義	笹部衣里 大野清二 立本行宏 山本哲也	歯科口腔外科
日本口腔外科学会雑誌	ビスフォスフォネート製剤によると考えられた上顎骨壊死の1例	立石善久 大野清二 植田栄作 山本哲也	歯科口腔外科
J Oral Maxillofac Surg	Thyroid carcinomas found incidentally in the cervical lymph nodes:Do they arise from the heterotopic thyroid tissues?	Yamamoto T Tatemoto Y Hibi Y Ohno A Osaki T	歯科口腔外科
J Oral Maxillofac Surg	Bilateral ischemic necrosis of the tongue due to disseminated intravascular coagulation.	Kamatani T Yamashita K Okabayashi T Maeda H Toi M Yamamoto T	歯科口腔外科
J Oral Maxillofac Surg	Isolated metastasis from hepatocellular carcinoma to the mandibular condyle with no evidence of any other metastases:a case report.	Kamatani T Tatemoto Y Tateishi Y Yamamoto T	歯科口腔外科
Biochem Biophys Res Commun	Ionizing irradiation induces apoptotic damage of salivary gland acinar cells via HADPH oxidase 1-dependent superoxide generation.	Tateishi Y Sasabe E Ueta E Yamamoto T	歯科口腔外科
Cancer Sci	Enhancement of apoptotic damage of squamous cell carcinoma cells by inhibition of the mitochondrial DNA repairing sysytem.	Ueta E Sasabe E Zhu Yang Osaki T Yamamoto T	歯科口腔外科

Cardiology.110:87-91.2008	Asymptomatic pericardial effusion patients with rheumatoid arthritis	Sugiura T, Kumon Y, Matsumura Y, Takeuchi H, Doi YL	検査部
Lupus.18:128-132.2009	Asymptomatic pericardial effusion in patients with systemic lupus erthematosus	Sugiura T, Kumon Y, Matsumura Y, Takeuchi H, Doi YL	検査部
Leuk Res.33:913-918.2009	Testican 3 expression in abult T-cell leukemia	Kamioka M, Imamura J, Komatsu N, Daibata M, Sugiura T	検査部
J. Gastroenterol. 43:849-857. 2008	Cloning, polymorphism and inhibition of β - carbonic anhydrase of Helicobacter pylori	Morishita S, Nishimori I, Minakuchi T, Onishi S, Takeuchi H, Sugiura T, Vullo D, Scozzafava A, Supuran C. T	検査部
World Journal of Gastroenterology 15:211-218. 2009	Role of Helicobacter pylori and host genetic factors in gastric cancer incidence rate variability in Costa Rica	Con, S.A, Takeuchi H, Con-Chin G.R, Con-Wong R, Con-Chin V.G, Yasuda N, Sugiura T	検査部
Microbes and infection 11:429-433. 2009	CD40 signaling activated by Epstein- Barr virus promotes cell survival and proliferation in gastric carcinoma-derived human epithelial cells	Imadome K, Shimizu N, Yajima M, Watanabe K, Nakamura H, Takeuchi K,	検査部

小計 6

合計 210

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 倉本 秋		
管理担当者氏名	総務管理課長 医療サービス課長 薬剤部長 放射線部長	源 憲治 高橋 貞夫 宮村 充彦 小川 恭弘	医療安全管理部長 横山 彰仁

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医療サービス課(病歴室)及び薬剤部並びに放射線部	カルテ等病歴資料は、外来・入院別に一患者一ファイル方式とし、エックス線写真は一患者一ファイル方式で共にコンピュータによる集中管理を行っている。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務管理課	
	高度の医療の提供の実績	医療サービス課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究支援課	
	高度の医療の研修の実績	総務管理課	
	閲覧実績	総務管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療サービス課	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	経営企画課及び薬剤部		
確規保則の第9条の2及び第1条の1各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策チーム	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染対策チーム
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策チーム
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策チーム
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策チーム
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME機器管理室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器管理室
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器管理室		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器管理室		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	医学部・病院事務部長 前田 邦章
閲覧担当者氏名	総務管理課長 源 憲治
閲覧の求めに応じる場所	医療サービス課 医事相談室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	65.5%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		9,058人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		6,581人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		899人
	D：初診の患者の数		18,686人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	㊦ (1 名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の設置状況	㊦ (1 名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	㊦ ・ 無
所属職員： 専任 (3) 名 兼任 (1 0) 名 活動の主な内容 (医療安全管理部規則) (1) 安全管理のための指針の整備及び情報収集に関すること。 (2) 重要な検討内容について、患者への対応状況を含め病院長へ報告すること。 (3) 重大な問題が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに職員への周知を図ること。 (4) 医療事故の防止及び対策に係る調査・分析に関すること。 (5) 改善策を立案すること。 (6) 改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行うこと。 (7) 安全管理に関する教育・研修に関すること。 (8) 安全管理に関する連絡調整に関すること。 (9) その他安全管理に関すること。	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	㊦ ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	㊦ ・ 無
指針の主な内容 (本院の安全管理のための指針) ・ 安全管理に関する基本的考え方 (安全管理の体制確保という総合的観点から) ・ 医療に係る安全管理のための委員会その他組織に関する基本的事項 ・ 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針 ・ 医療に係る安全の確保を目的とした、事故報告等の改善のための方策に関する基本方針 ・ 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 ・ 患者さんからの相談への対応に関する基本方針 ・ 患者さんや第三者などに対する当該指針の閲覧に関する基本方針 ・ 医薬品と医療機器安全管理に関する基本方針 ・ その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
活動の主な内容 (リスクマネジメント代表者会議内規) (1) 高知大学医学部附属病院医療安全管理部規則 (平成 16 年 5 月 26 日施行) 第 3 条に定める事項。 (2) 報告のあったインシデントの分析及び影響度レベルの判定に関すること。 (3) 判定した影響度レベルが 3 b 以上のものについて、医療問題調査委員会への報告に関すること。 (4) インシデントごとの解決策及び再発防止策等の企画・立案に関すること。 (5) 医療安全管理体制システム及びマニュアルの見直しに関すること。 (6) 研修会等の企画・立案に関すること。 (7) 協議事項の結果をリスクマネジメント担当者会議に周知徹底すること。 (8) その他安全管理に関すること。	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 1 6 回
研修の主な内容：安全管理のための基本的考え方及び具体的方策について実施 医療事故防止の基本、インシデントレポートの報告の仕方、安全な CV カテーテル挿入術、本院における医療安全の取り組み、インシデント・事故事例の分析手法、麻薬の取扱い・転倒転落について調査報告と転倒時の対応	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
医療機関内における事故報告等の整備 (㊦ ・ 無) その他改善のための方策の主な内容 ・ 報告事例の分析を行い、事例に対応する事故防止のための研修会の開催、マニュアルの追加 ・ 医療機器の不具合情報を厚生労働省に報告するとともに院内にもリスクマネジメントニュースとして周知 ・ 報道された医療事故等の要約を全部署に配布し、事故防止について注意喚起している。 ・ 病棟巡視を行い、その結果を病棟に示し注意・改善を喚起している。	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策に関する基本的考え方 2. 院内感染対策のための委員会その他組織に関する基本的事項 3. 院内感染対策のための職員研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6. 患者さんや第三者などに対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. その他院内感染対策の推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 感染の発生及びその感染経路の調査に関すること 2. 感染予防に係る情報の収集に関すること 3. 感染予防の実施、監視及び指導に関すること 4. 感染症発生時の措置に関すること 5. 院内職員の教育及び啓発に関すること 6. 消毒剤等の使用に関すること 7. 感染症専用処置室の運用に関すること 8. その他感染予防に関すること 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年13回
<p>・ 研修の主な内容： 下記5つのテーマで合計13回開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本院の感染対策の現状および改善すべき点について ・ これから流行するインフルエンザとノロウイルスの対策 ・ 感染対策の基本である標準予防策について学ぶ ・ 針刺し事故や血液曝露が発生したときの対処法 ・ 正しい検体採取方法および本院の検出状況 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 感染情報レポートは、週報(毎週1回)、月報(毎月1回)、年報(毎年1回)作成し、感染症法に基づく病原体(MRSA、ペニシリン耐性肺炎球菌、感染性胃腸炎の病原菌、薬剤耐性緑膿菌など)、β-ラクタマーゼ非産生アンピシリン耐性ヘモフィルス、3世代セフェム耐性基質拡散型β-ラクターゼ産生菌、クロストリジウム・ディフィシル菌、流行時期に応じてインフルエンザ、ノロウイルスなどの検出状況を示している。 2. MRSAについては、サーベイランスを行い、感染と保菌、院内発生と持込を診療科別、病棟別に示している。 3. これらの情報は、ベースラインを把握し、菌検出状況に応じて現場に出向き感染対策を徹底することによって、アウトブレイクの予防と早期察知に役立て、さらに感染対策実施状況の評価に活用している。 4. 診療科、病棟、外来、検査部から専任感染対策マネージャーに報告。 5. 専任感染対策マネージャーは直ちに部署に出向き、患者発生状況を調査する。 6. 感染が拡大しないように具体的な感染対策を指導する。 7. 接触者(患者、面会者、医療従事者)を確認し、必要な予防策を講じる。 8. 医師、看護師、ICT合同カンファレンスを開催し、情報の共有と対策の徹底を図る。 	

9. 随時専任感染対策マネージャーから感染対策委員会委員長に報告する。
10. 各診療科、病棟から所属長に報告する。
11. ICTに報告が必要な病原体として、多剤耐性緑膿菌、バンコマイシン耐性腸球菌、基質拡散型 β -ラクターゼ産生菌、ペニシリン耐性肺炎球菌、クロストリジウム・ディフィシル菌、下痢および嘔吐、食中毒、結核および結核の疑い、インフルエンザ、麻疹、水痘・带状疱疹、風疹、流行性耳下腺炎、流行性角結膜炎、百日咳、疥癬をあげている。
12. 診療科、病棟、外来、検査部から専任感染対策マネージャーに報告があれば、
 - ①専任感染対策マネージャーは直ちに部署に出向き、患者発生状況を調査する
 - ②感染が拡大しないように具体的な感染対策を指導する
 - ③接触者（患者、面会者、医療従事者）を確認し、必要な予防策を講じる
 - ④医師、看護師、ICT合同カンファレンスを開催し、情報の共有と対策の徹底を図る
 - ⑤随時専任感染対策マネージャーから感染対策委員会委員長に報告する
 - ⑥各診療科、病棟から所属長に報告する必要に応じて保菌者スクリーニング、環境培養、詳細な疫学調査を実施する

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	○・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 7回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容：(H20年度) <li style="padding-left: 20px;">静脈注射について（4回） <li style="padding-left: 20px;">麻薬の管理について（2回） <li style="padding-left: 20px;">簡易懸濁法について（1回） 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 （ ○・無 ） ・ 業務の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ①医薬品の採用・購入に関する事項 ②医薬品の管理に関する事項 ③患者に対する医薬品の投薬指示から調剤までに関する事項 ④患者に対する与薬や服薬指導に関する事項 ⑤医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項 ⑥他施設（医療機関、薬局等）との連携に関する事項 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （ ○・無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> DI ニュースの発行（年3～4回発行） 医薬品、医療用具等の安全情報の発行（年11～12回発行） IMIS掲示板（web） 各種勉強会、講習会等 	